

令和6年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点
「グローバル共生に向けた東南アジア地域研究の国際共同研究拠点」
年次研究成果発表会 プログラム（各演題、発表12分、質疑3分）

日時： 令和7年2月13日（木）16時～17時50分 14日（金） 9時30分～17時45分

場所： 稲盛財団記念館3階大会議室（Zoomミーティング）ハイブリッド開催

2月13日(木)16:00～17:50				
パイロットスタディセッション		司会：小林知・山崎渉(京都大学東南アジア地域研究研究所)		
16:00	— 16:05		趣旨説明	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
16:05	— 16:20	パイロットスタディ	課題1	大阪大学大学院原稿文化研究科・博士課程 朴 苑善 都市におけるタイヤイの社会空間：バンコクにおけるタイヤイの若者の社会空間形成に着目して
16:20	— 16:35	パイロットスタディ	課題2	京都大学大学院人間・環境学研究所・博士課程 桃木 梨愛 養蜂の技術実践と家畜化をめぐる人類学的研究。ラオスにおける国際開発援助の事例から
16:35	— 16:50	パイロットスタディ	課題3	東京外国語大学大学院総合国際学研究所・博士課程 大場 翠 帰還に対するミャンマー難民の選択—カイン州のある村を事例として
16:50	— 17:05	パイロットスタディ	課題4	京都大学大学院 農学研究科 応用生物学専攻・修士課程 野澤 智晴 フィリピンにおけるウシ白血病ウイルス検出系の評価およびウシ白血病ウイルスを媒介する吸血昆虫対策としてのウシをシマウマ模様に塗ることによる影響の評価
17:05	— 17:20	パイロットスタディ	課題5	北海道大学大学院地球環境科学研究院・日本学術振興会外国人特別研究員 LIM QI LUAN スマトラ島におけるマレーバクの個体群保全のためのゲノム、腸内細菌叢、食性解析
17:20	— 17:50		質疑応答・討論(30分)	
2月14日(金)9:30～17:45				
9:30	—		開会	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
9:30	— 9:40		所長挨拶	三重野文晴 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
9:40	— 9:50		趣旨説明	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
セッション 1		司会：小川まり子・高橋知子(京都大学東南アジア地域研究研究所)		
9:50	— 10:05	インキュベーションセッション	課題6	京都大学防災研究所・助教 中野 元太 地球規模で縦断・連携し防災に新たな展望を—日本、メキシコ、マレーシアのコミュニティエンパワメントの好事例と課題を分かち合う—
10:05	— 10:20	インキュベーションセッション	課題7	東北大学大学院農学研究科・教授 田仲 哲也 東南アジアにおけるマダニ媒介性感染症の実態解明と簡易迅速な診断法の構築
10:20	— 10:35	インキュベーションセッション	課題8	日本大学生物資源科学部・専任講師 佐々木 綾子 (代理発表) 柳澤 雅之(東南アジア地域研究研究所) 山村の景観形成においてヤマチャが果たした機能の検討にむけた分野横断的研究
10:35	— 10:50	インキュベーションセッション	課題9	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授 片岡 樹 重層信仰論再考—次世代の東南アジア宗教論に向けた作業仮説構築の試み—
10:50	— 11:05	インキュベーションセッション	課題10	静岡県立大学国際関係学研究所・助教 吉田 航太 ジャカルタ首都圏の小規模経済活動に対するデジタル化のインパクト：地域社会の多様性解明に向けたマクロとミクロの融合的研究
11:05	— 11:20	インキュベーションセッション	課題11	山形大学人文社会科学部・教授 今村 真央 人権の時代の東南アジア
11:20	— 11:35		質疑応答(15分)	
11:35	— 13:00		昼食(85分)	
セッション 2		司会：町北朋洋・中西嘉宏(京都大学東南アジア地域研究研究所)		
13:00	— 13:15	インキュベーションセッション	課題12(最終)	大阪大学大学院人間科学研究所・教授 福岡 まどか 東南アジア現代アートの実践に関する考察—上演芸術を中心とした予備的調査
13:15	— 13:30	インキュベーションセッション	課題13(最終)	京都大学東南アジア地域研究研究所・連携教授 大橋 厚子 「東南アジア型発展経路」概念の深化に向けたFieldNote Archiveの可能性：インドネシア・南スラウェシを事例として
13:30	— 13:45	インキュベーションセッション	課題14(最終)	秋田大学教育文化学部・教授 林 武司 メコンデルタにおける農業の持続可能性評価に資するための水循環機構の把握手法の検討
13:45	— 14:00	インキュベーションセッション	課題15(最終)	徳島大学大学院社会産業理工学研究部・准教授 内藤 直樹 東～東南アジアにおける世界農業遺産の推進に資するプラットフォームの構築
14:00	— 14:15	インキュベーションセッション	課題16(最終)	東京大学大学院総合文化研究科・教授 川島 真 地域研究に根ざしたアジア外交研究の創成
14:15	— 14:30		質疑応答(15分)	
14:30	— 14:40		ブレイクタイム(10分)	
セッション 3		司会：土屋喜生・西芳実(京都大学東南アジア地域研究研究所)		
14:40	— 14:55	インキュベーションセッション	課題17(最終)	広島大学大学院文学研究科・准教授 伊藤 奈保子 インドネシア・ボロブドゥールのレリーフにおける仏教美術研究
14:55	— 15:10	成果発信	課題18	チェンマイ大学社会科学部 人類学社会学部 教授 YOS SANTASOMBAT 東南アジアにおける中国の一带一路政策：概念と方法論
15:10	— 15:25	フィールド滞在型	課題19	岡山大学学術研究院・教授 生方 史数 情報化時代における東南アジアの辺境社会
15:25	— 15:40	フィールド滞在型	課題20(最終)	愛知県立大学外国語学部国際関係学科・准教授 藤倉 哲郎 東南アジア農村社会における人々の機会とリスクに関する研究枠組み構築の試み
15:40	— 15:55	客員共同研究	課題21	政策研究大学院大学・准教授 高木 佑輔 フィリピン大学と日常の政治—路上、教室と大統領執務室
15:55	— 16:10	資料共有	課題22	大阪大学人文科学研究科・准教授 日向 伸介 タイ葬式本の資料共有化とその学術利用に係る実践的研究
16:10	— 16:25	資料共有	課題23	京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授 河野 元子 海峡植民地年次報告書統計資料のデータベース化とオンライン公開のころみ
16:25	— 16:40	資料共有	課題24(最終)	京都工芸繊維大学未来デザイン工学機構・准教授 大田 省一 ハノイ旧市街寺社神祠拓本から見る近代以後の都市変容に関する基礎研究
16:40	— 16:55		質疑応答・討論(15分)	
16:55	— 17:05		ブレイクタイム(10分)	
17:05	— 17:45		講評・ディスカッション(40分)	
17:45	閉会のことば (京都大学東南アジア地域研究研究所)			